

科 目 名	リハビリテーション概論【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	溝 田 勝 彦						
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	リハビリテーションに関わる専門職種にとって必要な、リハビリテーションの定義、理念、歴史および基本的知識について講義する。また、総合的なリハビリテーションを実現するには、リハビリテーションの多様な分野の有機的結合が必要である。本講義ではその関連性について総合的に理解し、さらにチームワークの重要性を学習する。						
授 業 の 到 達 目 標	1. リハビリテーションの概念を説明できる。 2. リハビリテーションの歴史を説明できる。 3. 国際障害分類（ICIDH）と国際生活機能分類（ICF）について理解する。 4. 障害と障害へのアプローチについて理解する。 5. 障害と心理について理解する。 6. リハビリテーションの4領域について説明できる。 7. ADL と QOL について理解する。 8. 専門職種とその役割について理解する。 9. 医療制度について理解する。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	配布資料に基づいて講義する。参考書：リハビリテーション（上田敏著、講談社）、リハビリテーション概論（上好昭孝、土肥伸之編著、永井書店）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○		○		70	
小テスト等	◎					30	
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	リハビリテーションの定義・歴史						
第 2 週	障害と障害へのアプローチ						
第 3 週	障害と心理						
第 4 週	リハビリテーションの諸相						
第 5 週	ADL と QOL						
第 6 週	専門職種とその役割						
第 7 週	医療制度						
第 8 週	復習とまとめ						
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	事前に講義資料を熟読しておくこと。また、毎回復習テストを実施するので次回の講義までに復習をしておくこと。						